

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境								
1 音環境		-	-					
1.1 騒音		-	-					
1.2 遮音		-	-					
1 開口部遮音性能		-	-					
2 界壁遮音性能		-	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		-	-					
2 温熱環境		-	-					
2.1 室温制御		-	-					
1 室温		-	-					
2 外皮性能		-	-					
3 ゾーン別制御性		-	-					
2.2 湿度制御		-	-					
2.3 空調方式		-	-					
3 光・視環境		-	-					
3.1 昼光利用		-	-					
1 昼光率		-	-					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策		-	-					
1 昼光制御		-	-					
3.3 照度		-	-					
3.4 照明制御		-	-					
4 空気質環境		-	-					
4.1 発生源対策		-	-					
1 化学汚染物質								
4.2 換気		-	-					
1 換気量		-	-					
2 自然換気性能		-	-					
3 取り入れ外気への配慮		-	-					
4.3 運用管理		-	-					
1 CO ₂ の監視		-	-					
2 喫煙の制御		-	-					
Q2 サービス性能		-	0.43	-	-			3.5
1 機能性		-	-					
1.1 機能性・使いやすさ		-	-					
1 広さ・収納性		-	-					
2 高度情報通信設備対応		-	-					
3 バリアフリー計画		-	-					
1.2 心理性・快適性		-	-					
1 広さ感・景観		-	-					
2 リフレッシュスペース		-	-					
3 内装計画		-	-					
1.3 維持管理		-	-					
1 維持管理に配慮した設計		-	-					
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性		3.0	0.50					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30					
1 躯体材料の耐用年数	品確法 等級2相当	4.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	・上位3種-給水(B)汚水排水/雑排水(B)で、Eは不使用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			2.8	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			4.0	0.50		-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	平均階高 3750 以上	4.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.1	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		倉庫床5000N/m2	5.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	天井点検口、壁露出配線により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	天井点検口、壁露出配線により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57		-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.64 住宅(専有部) -	4.0	0.63		-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEIm=0.64、LED照明の採用	4.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)				-		-	
4 効率的運用			3.0	0.25		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		節水型便器や水栓を積極的に採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生骨材:路盤材利用(グリーン調達品目)	3.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用、LGS下地の採用により配管・配線が躯体及び仕上げ自体に打ち込まれていない。OA707採用	5.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=82%	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮			3.3	0.33		-	3.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を採用していない	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.50		-	
2	振動		3.0	0.50		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストを過半満たす、広告物照明がない	5.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	